

投資事業評価調書(新規)

部課室名	砂防課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	砂防課長 上野 勉 (木戸 徹)	内線	4459 (4465)
------	-----	---------------------	-----------------------	----	----------------

事業種目	砂防事業	事業名	事業区間	総事業費	約3.3 億円
		通常砂防事業 こたに 小谷川		内用地補償費	約0.5 億円

所在地			事業採択 予定年度	着工予定 年 度	完成予定 年 度
神崎郡 神崎町 ^{おおやま} 大山			18年度	18年度	22年度

事業目的	事業内容
土石流災害対策 ・土石流危険渓流に該当し、渓岸の浸食が進んでおり土砂災害の危険性が高まっているため、えん堤工を設置して地域住民の人命、財産、国道312号、播但連絡道路、災害時の指定避難所である大山なかよし会館を保全する。	・砂防えん堤工 2基 (H = 14.5m , L = 90.0m) (H = 14.5m , L = 60.0m) 〔負担割合 国: 1 / 2、県: 1 / 2〕

評価視点	評価結果の説明
(1)必要性 安全、安心	<ul style="list-style-type: none"> ・小谷川は土石流危険渓流である。 ・渓岸の浸食が進むなど流域内も広範囲に荒廃しているが、土石流対策として整備率は低い水準にある。 ・流域状況は渓流勾配約1 / 4と急で、渓岸の浸食が激しく土石流発生の危険性が高い。 ・保全対象: 人家 = 35戸、公共施設 = 国道312号、播但連絡道路、町道、大山なかよし会館(避難所)、大山上組集会所、田畑 = 3.70ha
地域の活性化	<ul style="list-style-type: none"> ・砂防えん堤工事により土砂災害の危険性が軽減され、第一次緊急輸送道路である国道312号及び播但連絡道路を保全することにより、物流交流のネットワークの確保に寄与する。
快適性・ゆとり	<ul style="list-style-type: none"> ・えん堤設置により土石流を止め、下流域への土砂氾濫を防止することにより、下流域の住民に安全で快適な生活空間を提供する。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・地元の土砂災害に対する認識度も高く、事業化への要望が強い。 ・山村振興指定地域に該当し、えん堤工の整備により条件不利地域の安全性向上に寄与する。
(2)有効性・効率性 有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・人命・財産(人家35戸)、国道312号、播但連絡道路及び災害時の指定避難所である大山なかよし会館が保全されるので、事業実施による投資効果は大きい。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・町等の協力体制が整っており、円滑な事業執行が可能である。
(3)環境適合性	<ul style="list-style-type: none"> ・国道等からの視認性を考慮し、化粧型枠等により周辺景観に配慮する。また、工事による法面については緑化を図るなど環境保全に努める。
(4)優先性	<ul style="list-style-type: none"> ・土石流の想定被害区域には人家35戸のほか国道312号、播但連絡道路、町道、災害時の指定避難所である大山なかよし会館及び大山上組集会所がある。 ・流域状況は平成16年10月の台風23号により土砂が流出し、流域の荒廃が進み、今後も土砂流出の危険性が高く、大山地区の人命・財産等を保全するため早急な対策が必要である。